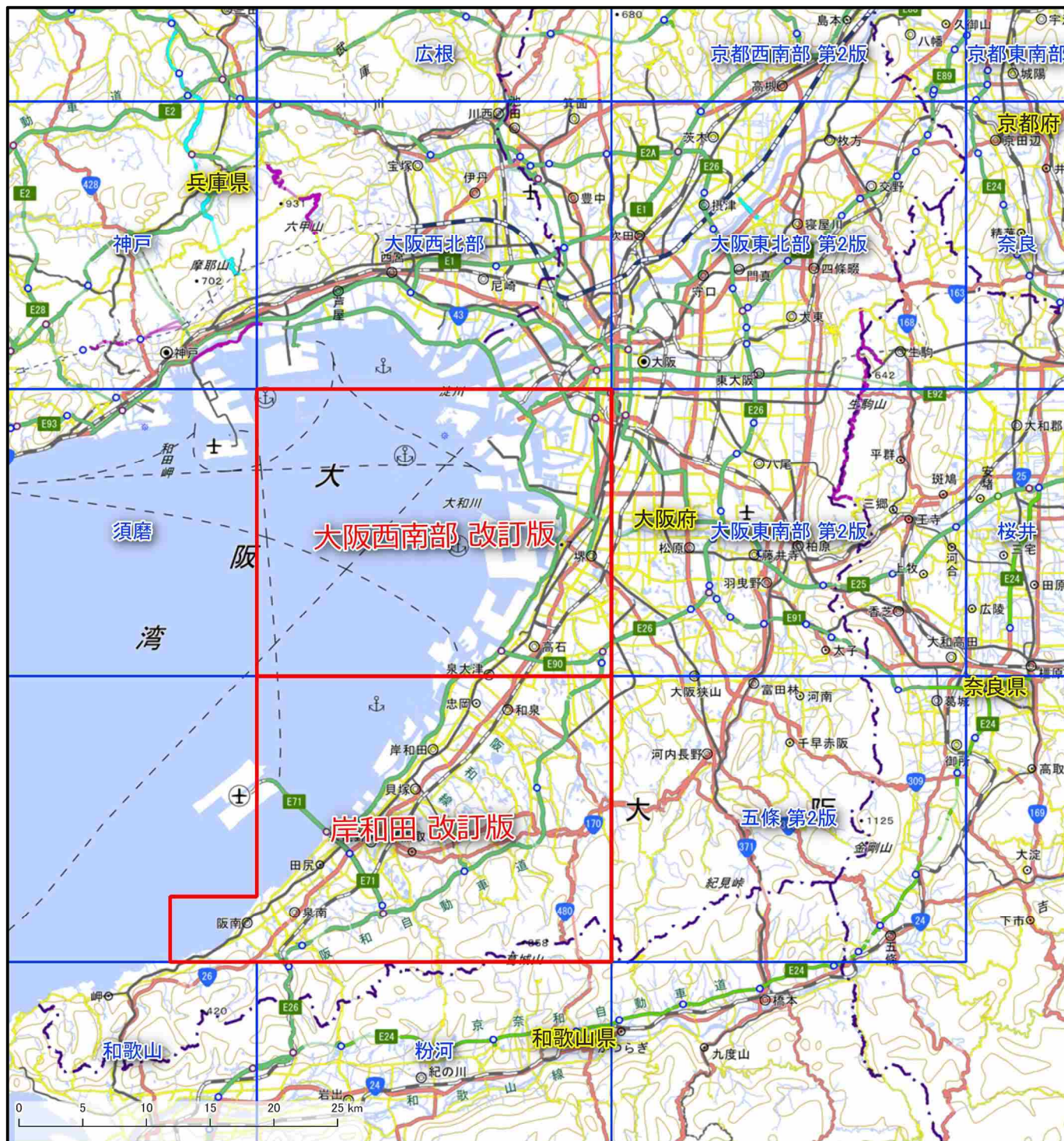


位置図

資料5

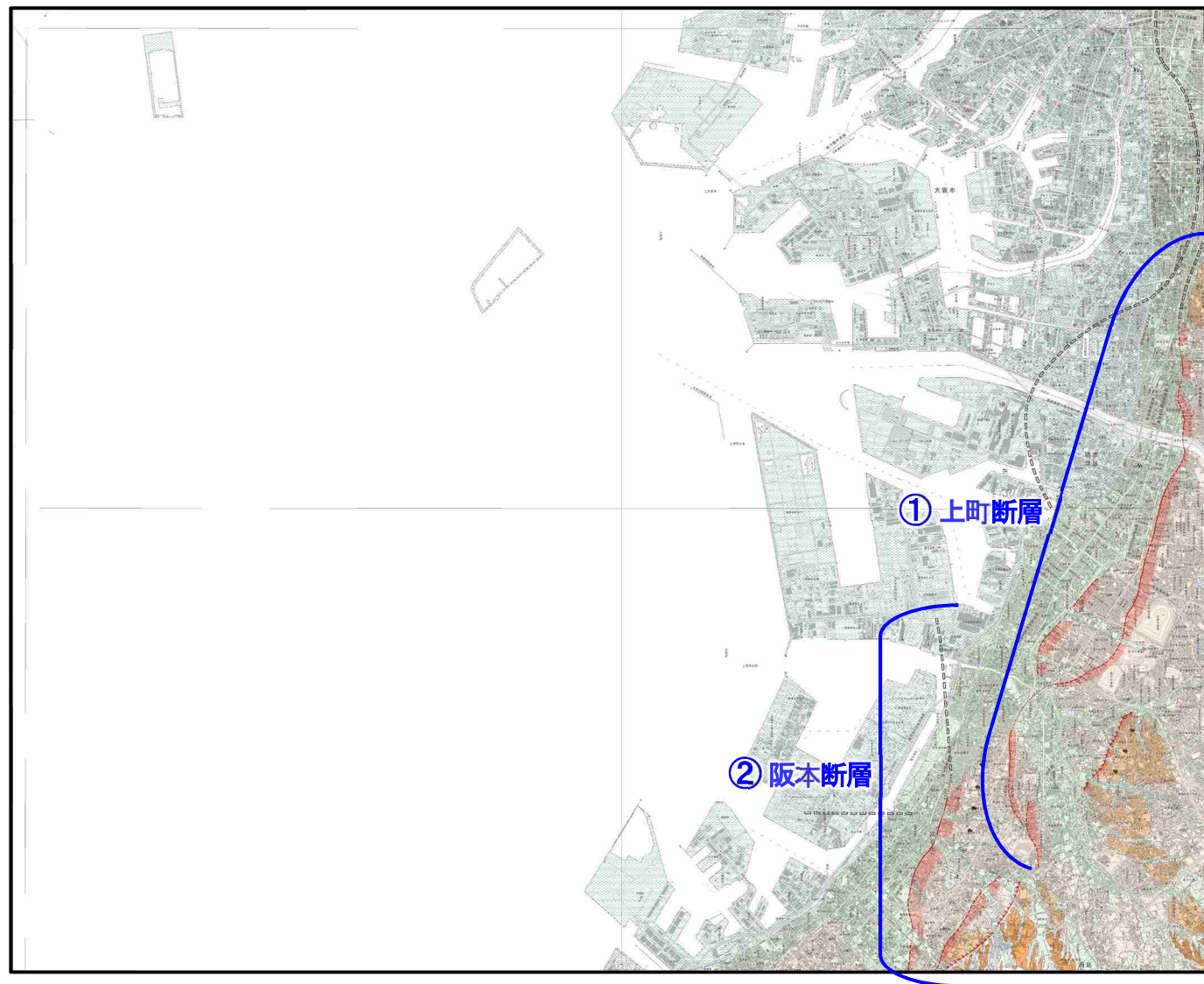
1:25,000 活断層図 上町断層帯とその周辺 「大阪西南部 改訂版」 「岸和田 改訂版」



公開図郭 整備済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図 「大阪西南部 改訂版」



2. 今回の調査で得られたこと

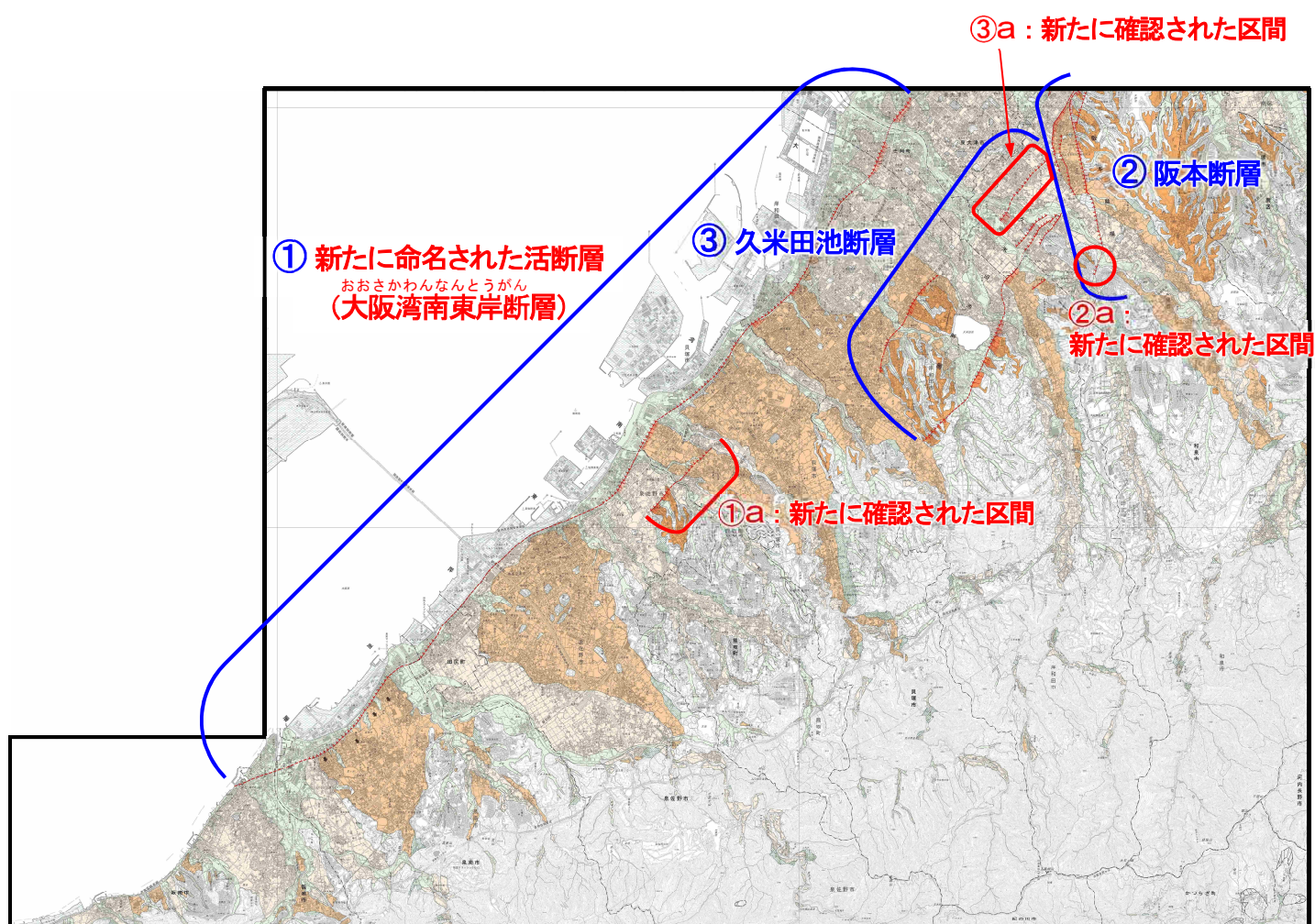
「おおさかせいなんぶ大阪西南部 改訂版」図葉には、うえまち上町断層約 13km、さかもと阪本断層約 7km と、その他の推定活断層を表示しています。
表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	うえまち 上町断層	大阪市西成区岸^{きしのさとひがし}里東付近（図郭東端）から堺市西区上^{かみ}まで、北北東－南南西方向に延びる、図葉内の長さ約 13km の活断層です。東側隆起の縦ずれ[*]変位を主体とし、ほとんどの区間で活撓曲[*]を伴っています。 大阪市西成区岸里東付近（図郭東端）から大阪市住吉区帝塚山^{てづかやま}付近までは推定活断層（地下）となっています。また、堺市堺区永代^{えいたいちよう}町から同区石津^{いしづちよう}町にかけては主断層の西側に、堺市西区上野芝^{うえのしばむこうがおかちよう}向ヶ丘^{ひらおかちよう}町から同区平岡^{ひらおかちよう}町にかけては主断層の東側に活断層が並走しています。
②	さかもと 阪本断層	堺市西区築港新^{ちっこうしんまち}町付近から和泉市王子^{おうじちよう}町（図郭南端）まで、ほぼ南北方向に延びる、図葉内の長さ約 7km の活断層です。 堺市西区築港新町から高石市羽衣^{はごろも}までは推定活断層（地下）となっており、同市羽衣から和泉市王子町（図郭南端）までは相対的に東側隆起（西側落ち）の活撓曲[*]を伴って活断層が延びています。高石市取石^{とりいし}から和泉市王子町（図郭南端）まで、東上がりの活撓曲[*]を伴う活断層と縦ずれ[*]変位を伴う 2 条の活断層が並走しています。

※印は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照

概要

1. 1:25,000 活断層図 「岸和田 改訂版」



2. 今回の調査で得られたこと

「^{きしわだ}岸和田 改訂版」図葉には、新たに命名された活断層(^{おおさかわんなんとうがん}大阪湾南東岸断層)約21km、^{さかもと}阪本断層約4km、^{くめだいけ}久米田池断層約7km と、その他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	新たに命名された 活断層 おおさかわんなんとうがん (大阪湾南東岸 断層)	<u>今回の調査で新たに命名された活断層です。泉大津市本町^{ほんまち}付近から阪南市尾崎町^{おざきちょう}付近まで、大阪湾の沿岸部に延びる、長さ約 21km の活断層です。全体として、大阪湾南東部に面した海岸部に分布することから、大阪湾南東岸断層と命名しました。</u> 全体として北東－南西方向に延びており、南東側隆起の縦ずれ[*]を主体とし、一部に活撓曲[*]と活褶曲[*]（背斜）を伴っています。 <u>図中① a 区間は、今回の調査で新たに確認された区間であり、貝塚市窪田^{くぼた}付近から泉佐野市鶴原^{つるはら}付近にかけて、沿岸の断層線と並走して約 2km の活断層が分布しています。南東側隆起の縦ずれ[*]を主体とし、一部に活撓曲[*]を伴う活断層です。</u>
②	さかもと 阪本断層	和泉市王子町^{おうじちょう}付近（図郭北端）から同市箕形町^{みがたちょう}付近まで、ほぼ南北に延びる、図葉内の長さ約 4km の 4 条の活断層です。東側隆起の縦ずれ[*]を主体とし、一部に活撓曲[*]を伴っています。 <u>図中② a 区間は、今回の調査で新たに確認された区間であり、阪本断層の南端部に位置し、東側隆起の縦ずれ[*]を伴う活断層です。</u>
③	くめだいけ 久米田池断層	和泉市府中町^{ふちゅうちょう}付近から岸和田市葛城町^{かつらぎちょう}付近まで、北東－南西方向に延びる、長さ約 7km の活断層です。南東側隆起の縦ずれ[*]を主体とし、一部に活撓曲[*]と活褶曲[*]（背斜）を伴っています。 断層の北部においては約 1km の幅の間に 4 条の活断層が並走しており、南部では久米田池を挟んで約 2km の間をおいて、2 条の活断層が並走し、両断層の間には南北方向に延びる、活褶曲[*]（背斜）が確認できます。 <u>図中③ a 区間は、今回の調査で新たに確認された区間であり、和泉市府中町^{ふちゅうちょう}付近から同市和気町^{わけちょう}付近まで、北東－南西方向に延びる、長さ約 2km の相対的に南東側隆起の縦ずれ[*]と一部に活撓曲[*]を伴う活断層です。</u>

※印は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照